

当院では、保有する既存試料・情報を用いて下記の研究を実施しております。このような研究の実施に当たっては、研究対象者の方に研究の参加を拒否する権利が保障されております。(オプトアウト)

この研究に関するお問い合わせなどありましたら、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

尚、研究又は他の研究機関への患者さんのデータ提供は、研究実施許可日から研究終了日の期間に行います。

記

研究機関名	市立豊中病院
研究実施許可日	2025年 8月 4日
研究終了日	2027年 4月20日 まで
研究の名称	ステント留置したpStageⅢ閉塞性大腸癌の術前栄養指標による予後の検討
研究対象	当院で大腸ステント留置後に原発巣を切除したpStageⅢ大腸癌の患者さん
対象材料	診療記録
対象期間	2017年1月から2024年5月
研究の目的意義	閉塞性大腸癌は食事摂取できず低栄養状態となることがあります。ステント留置した閉塞性大腸癌に対する原発巣切除症例の術前栄養状態と予後の関連を明らかにすることです。
方法	栄養指標であるGeriatric Nutritional risk indexを用い、術前栄養状態と予後である無再発生存率、全生存率の相関を検討します。
個人情報の取り扱い	個人情報は院内で取り扱い、匿名化等により院外には出しません。
問い合わせ先 (研究責任者)	市立豊中病院 消化器外科 萩原 清貴 TEL06－6843－0101